

『一般社団法人ETA・AAL推進協議会』ご紹介

(みんなが使えるIT機器に:コミュエイド&シニアライフエイド)

普及推進

【 設立の背景と目的 】

高齢化先進国の日本において、国内・国際標準規格ETA・AAL(下記参照)の普及推進を通じて、支援の必要な高齢者・障がい者等を含む全ての人の日常生活の質(QOL)を高めることを目指し、一般社団法人ETA・AAL推進協議会を設立(2019年5月24日)いたしました。

ETA・AALのビジネスモデル・サービス・システム・技術・機器を利用者主体で暮らしやすくするために医療・福祉・行政・企業等と協働で開発し、日本の新しい産業創出に繋げていくものです。

{活動の特徴}

- ・ 国際・国内標準規格の専門家による、それらの規格をベースにしたグローバルな活動
- ・ 機器が苦手な人にもETA等の技術で、使い易く安全確実なシステム・機器の取り扱いを可能とする活動
- ・ 技術と福祉の知識者が、システム・機器の立案から実施、その後のモニタリングまで、利用者・家族・医療福祉・行政等とシステム・機器技術者との仲立ちとなり、双方が一番良い実現方法を検討する事が可能

【 主な事業 】

1. ETA・AALに関する講演会、イベント及び研修の企画、運営、開催事業
2. ETA・AALに関する利用当事者・医療・福祉機関、機器・システム開発企業、企業・行政及び関連機関に対しての実証実験並びにその支援事業
3. システムの開発・改善に関するコンサルティング事業並びにエンジニアの育成事業
4. ETA・AALに関する審査、認定事業
5. ETA・AALに関する広報事業
6. ETA・AALシステムに関する社会システム(リスク管理等)への提言事業
7. 各種コンサルティング及び改善支援事業
8. ETA・AALシステム及び機器に関する調査・研究・開発
9. その他、この法人の設立目的を達成するための事業

規格化・国際標準化

ETA (Enhanced Terminal Accessibility)

(ISO/IEC 12905・JISX6905・全銀協IC
キャッシュカード標準仕様参考規格)

- ・利用者が、操作しやすい希望情報(支援リクエスト情報)を登録すると、機器が利用者ごとにカスタマイズされた操作環境を提供する機能。
- ・支援リクエスト情報(例)
表示(サイズ・色・コントラスト・明るさ)・音声(音量・音声周波数)・操作速度・多言語

AAL (Active Assisted Living)

(自立生活支援サービス)

- ・IECでは、高齢者(高齢に伴う障害)の自立支援をサポートするためのシステム・技術・機器の国際標準を行うべく、2015年3月に新しくSystems Committee AALを設立。
- ・ICTを利用した、低介護レベルの自立支援・介護サービス提供者の負担軽減

経済産業省(産業技術環境局 国際標準課)・日本規格協会グループ(JSA)
+
IEC(国際電気標準会議)

ホームページ: aaleta.com 問い合わせメール: info@aaleta.com